



被災地復興支援

宮城の子どもたちが書いた「サンタさんへの手紙」展 全国各地での巡回展 — 被災地へ届けよう！サンタクロースの心 —

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

当協会の活動の一つである「サンタさんへ手紙を書こう！手紙を書いてサンタを街に呼ぼう」により、2010年度は全国から46,000通ものサンタクロースに宛てられたはがきが届きました。

なかでも地域をあげて取り組んだ宮城県からは全国一の32,000通、2位の熊本からは13,000通ものはがきが届き、2010年12月にはフィンランドのサンタクロースが宮城県、熊本県を訪れ、多くの子どもたちの笑顔に出会うことができました。

その宮城訪問の記憶が新しい3月11日に発生した大震災、宮城県をはじめとした被災地の惨状は決して他人事ではありませんでした。そこで少しでも被災地の子どもたちに元気になってもらいたい、一日も早く笑顔が戻るようにとの想いから、サンタクロースに宛てて書かれた子どもたちの手紙をもとに、9月の1ヵ月間、フィンランド・サンタクロース中央郵便局において、被災地の一つであった宮城県の子供たちが書いた手紙作品展を開催し、世界中の方々に向けての支援の呼びかけを行いました。初日には被害を受けた日本にむけて、サンタクロースからあたたかいメッセージが発信されました。[\[展示会場及び当協会HPにて掲載\]](#)

そしてフィンランドにおける展示公開を終えた「サンタさんへの手紙作品」が日本に戻って参りました。日本国内の皮きりとして日本の空の玄関口である成田空港、東京都心においては通信総合博物館において作品展を終え、この度全国各地での巡回展の開催となりました。この展示会を通じて、被災地への長期的な支援の呼びかけにつなげていきたいと考えています。

さらにより具体的な子ども支援につながるよう、被災地にむけての寄付金の募集を呼び掛けると同時に、宮城県の子供たちが書いた「サンタさんへの手紙」のデザインをもとに制作したチャリティはがきの販売を行います。

皆さまから寄せられた寄付金全額とチャリティ販売の収益の一部は被災地への支援活動に充てると同時に、今年の12月にサンタクロースと共に被災地を訪れ、地方自治体の子ども支援窓口へ寄付させていただきます。

クリスマスは家族や友人のみならず、人が人を思いやる大切な日。そしてそのシンボルであるサンタクロースは夢や希望、幸せを運ぶ使者として人々の心に存在します。

皆様のあたたかいお気持ちを、フィンランドのサンタクロースと一緒に届けさせていただきます。

”サンタクロースの心”を持つ多くの方のご参加、またご協力をお願い申し上げます。

多くの子どもたちの心に希望の灯りがともることを願いつつ

2011年 10月

主催 : (財) 日本・フィンランドサンタクロース協会
後援 : フィンランド郵政／サンタクロース中央郵便局／フィンランド大使館
日本郵政株式会社／郵便事業株式会社／郵便局株式会社

寄付の受付 : 郵便局備え付け振替用紙にて
口座番号 00820-0-108778 加入者名 (財) 日本・フィンランドサンタクロース 基金

お問い合わせ先 (財) ^{ニホン}日本・フィンランドサンタクロース協会 TEL 054-655-0708

info@jf-santa.org URL <http://www.jf-santa.org>

※これらの手紙は震災以前(2010年の11月まで)に書かれた手紙であり、震災以後の生存確認はされていません。公開の可否については投函時に確認済みですが、お名前、年齢などは伏せて展示してあります